3）財務諸表に対する注記

重要な会計方針

1．有価証券の評価基準及び評価方法

a　満期保有目的の債権・・・・・・償却原価法（定額法）によっている。

b　その他の有価証券

保有目的の有価証券・・・・・・原価法によっている。

2．引当金の計上基準

役員退職慰労金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当期末における退職慰労金見積額（選考委員退職金400千円を含む）を計上している。

3．基本財産の増減額及びその残高

1）当期における基本財産の増減はありません。

2）基本財産の残高は次のとおりである。

（単位：円）

株式　ライオン㈱株式 286,000株	75,000,000
定期預金（大和ネクスト銀行）	10,000,000
定期預金（UBS銀行）	10,000,000
基本財産合計	95,000,000

4）附属明細書

1．基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
基本財産	有価証券(ライオン(株)株式　286千株)	75,000,000	0	0	75,000,000
	定期預金(大和ネクスト銀行)	10,000,000	0	0	10,000,000
	定期預金(UBS銀行)	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	95,000,000	0	0	95,000,000
特定資産	研究助成基金	276,453,728	0	0	276,453,728
	特定資産計	276,453,728	0	0	276,453,728

2．引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			使用目的	その他	
新助成第１期分積立	4,000,000	0	※1　1,500,000	0	2,500,000
新助成第２期分積立	3,000,000	5,000,000	0	0	8,000,000
積立金計	7,000,000	5,000,000	1,500,000	0	10,500,000
役員退職慰労金引当等	2,750,000	100,000	※2　450,000	0	2,400,000
引当金計	2,750,000	100,000	450,000	0	2,400,000

※1新助成（第1回フォローアップ助成）2年目助成金として取り崩し

※2理事、評議員各１名の退職慰労金、選考委員3名の退職金として取り崩し